

[017] 雅俗表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/4785219>

出版情報：雅俗. 17, 2018-07-17. 雅俗の会
バージョン：
権利関係：

■同人一覽

(維持同人)

天野 聡一	板坂 耀子	井上 敏幸
大久保順子	大庭 卓也	大牟田拓海
檜澤 葉子	勝又 基	亀井 森
川平 敏文	菊池 庸介	
ロバートキャンベル		
久保田啓一	白石 良夫	吉良 史明
園田 豊	高杉 志緒	進藤 康子
田中 道雄	中野 三敏	高橋 昌彦
丹羽 謙治	沼尻 利通	西田 耕三
宮崎 修多	村上 義明	菱岡 憲司
安永 美恵	吉田 宰	盛田 帝子
		若木 太一
(賛助同人)		
穴山 健	飯倉 洋一	池澤 一郎
磯部 敦	位田 絵美	入口 敦志
岩井 眞實	大島 明秀	岡田万里子
尾崎 千佳	神永 暁	柏崎 順子
加藤 弓枝	神作 研一	清登 典子
工藤いづみ	工藤 俊玄	琴 榮辰
合山林太郎	塩村 耕	清水 俊隆
神野 雄二	白瀬 浩司	勢田 道生
高山 大毅	田邊菜穂子	中森 康之
中山 成一	西浦 和稔	服部 仁
花田富二夫	浜田 泰彦	伴野 英一
平岡 隆二	平山 聖悟	廣瀬千紗子
藤沢 毅	古相 正美	牧野 宏子
松村 美奈	溝田 直己	三國 恵里
三ツ松 誠	村田 裕司	柳沢 昌紀
矢野 準	山田 洋嗣	米谷 隆史
脇山 真衣		

(五十音順)

■後記

『雅俗』第十七号をお届けします。今号も力作が揃い、またまた重厚なる号となった。いたずらに頁数が多いのは自慢にもならないが、十三本の論考・エッセイ等を載せていることを考えれば、充実という言葉以外の何ものでもなからう。▼最近、同人以外からの投稿も一定数見られるようになった。多くの人に開かれた議論の場を提供したい本誌としては、この傾向はまことに喜ばしい。▼以下、初見参の方を中心に紹介する。まずは「論考」。深沢稿は、『奥の細道』所収発句の解釈と、『細道』における意義を考察する。吉田稿は、後藤梨春の『都老子』と彼の本草学との関連を読み解く。期せずして木場稿も、『日東本草図彙』なる本草書を中心に、怪談へスタンスの取り方を論じる。他の論考にも、文学という枠組みを超えて歴史や思想と往来するものが目立った。▼本号からの新企画「スポットライト」は、編集部が注目する若手を招待して、自由に執筆してもらおう特別枠である。その第一号は丸井貴史氏。吉文字屋本と読本とのあいだを論ずる力作を寄せてくれた。▼「連載エッセイ」は、本号から白石良夫氏につとめていただく。いわずと知れた学術エッセイの名手である。▼コラム「雅俗草露」は、毎月同人宛にメールでお送りしている雅俗月報が百号に到達したのを記念して、昨年、毎月一本ずつ掲載していたもの。▼最後に「寄稿」の今西稿は、和本の表紙裏貼に使われた反古紙をめぐる興味深い報告である。▼次号からは新企画「此三冊」を始める。これまでの連載「私の研究履歴」とあわせて、今後は断続的に掲載していくことになる。めずすはコミュニティの中心にある雑誌。今後とも宜しくご支援のほどお願いいたします。(川平)

雅俗 第十七号

平成三十年七月十七日 発行

■編集委員会

高橋昌彦 川平敏文 亀井 森
菊池庸介 菱岡憲司

■発行

雅俗の会
(事務局)

〒八二一八五八一
福岡市東区箱崎六一一九一
九州大学文学部 川平研究室内
電話 092-642-2419
e-mail : gazoku2@gmail.com

■印刷所

城島印刷株式会社
〒八二一〇〇二二
福岡市中央区白金二一九一六